

■貴重な生きものたち：奪われる生物多様性

タスマニアの森林には多くの希少な固有の野生動物がいます。しかし今、天然林の伐採によって多くの動物たちが絶滅へと近づいています。巨木の原生林は、小型の哺乳類やフクロウ、絶滅危惧種のオナガイヌワシが巣を作る場所としても重要ですが、そのような木が紙の原料として伐採されています。林業会社は森の木々を全部切った（皆伐）後、森に火をつけて小さな木や草、動物たちを全て排除します。その後は造林しますが、苗木や若芽が動物たちに食べられないように、私有林では「1080」という強い毒餌をまいて残った野生動物を「駆除」してしまうのです。この毒により、林業会社が「害獣」とするフクロギツネやワラビー以外にも、ウォンバットやカンガルー、絶滅危惧種のオナガイヌワシやタスマニアデビルまでも死んでしまう可能性があります。

ベネツワラビー

オナガイヌワシ



タスマニアデビル

2006年12月に行われた連邦裁判所での判決では、オナガイヌワシ、オトメインコ、広歯クワガタなど3種の絶滅危惧種が商業伐採から保護されていないことが認定されました。タスマニアの伐採事業は将来世代に引き継がれるべき生物多様性に重大な危害を加えています。

■あなたにできること

1. この問題を一人でも多くの人に伝えること。
2. 紙を使ったり買ったりするときには、できる限り古紙100%の再生紙を使い、それが難しい場合はFSC認証の紙を利用すること。
3. 原生林の破壊に加担している企業にメールや手紙で、森を守るように求めること。
4. 紙を大切にし、使用量を減らすこと。

私たち日本の消費者が購入しないことで、タスマニアの原生林を守ることができます。このリーフレットやタスマニアの森林問題のDVD、関連冊子などがありますので、活用したい方は、以下の団体まで、ご連絡下さい。**みんなで大切な森を守りましょう！**

熱帯林行動ネットワーク（JATAN）

日本の木材貿易と木材浪費社会を改善するため、政府、企業、市民の役割を提言することで、生物多様性や地域の住民の生活を守るなど、環境・社会面で、世界の森が健全な状態になることを目指しています。

レインフォレスト・アクション・ネットワーク（RAN）

サンフランシスコに本部を持つ米国の環境NGO。環境に配慮した消費行動を通じた原生林保護・環境保護活動を、様々な角度から行っています。

連絡を取りたい方は、こちらへ！

熱帯林行動ネットワーク（JATAN）

電話：03-5269-5097

<http://www.jca.apc.org/jatan/> jatan@jca.apc.org

レインフォレスト・アクション・ネットワーク日本代表部

電話：03-3341-2022

FAX：03-3341-2277

<http://www.TreesNotGunns.org/jp> ran_toyo@yahoo.co.jp

このリーフレットは、パタゴニア日本支社環境助成金の支援を得て作成しました。



この美しい

タスマニアの原生林が

日本で紙になっています



熱帯林行動ネットワーク

レインフォレスト・アクション・ネットワーク

